

平成22年度 福島県優良建設工事表彰

部門	工事写真	事業名・地区名／工事場所/工事概要/会社名
水路部門		<p>かんがい排水事業（一般型） 新安積（一期）地区 須賀川市大桑原 地内 水路工 L=1,102.87m 株式会社 あおい 代表取締役 菊地 大介</p> <p>新安積排水末端を流れる幹線用水路の改修工事です。</p> <p>現場は狭くカーブが連続する水路でしたが、水路の製品1つ1つに番号を付けるなどの工夫で効率的な作業が行われました。</p> <p>また、水路と水路の継目などの細かな部分や水路脇の土の埋め戻しや転圧も丁寧に行われており、水路の”とおり”が良く出来映えも優秀な工事となっています。</p>
農道部門		<p>中山間地域総合整備事業（一般型） 津島地区 双葉郡浪江町大字赤宇木 地内 道路工（改良）L=1,138.2m W=3.0/4.0m 株式会社 泉田組 取締役社長 岡和田 薫</p> <p>道路の基礎となる土の工事から舗装工事までを1年間で行うため、土を通常より固く締め固め、固さのパラツキも少なくなっています。</p> <p>現場では他に2件の工事が行われましたが、この業者が中心となって他の工事との調整を行い予定より早く工事が終了することができました。</p> <p>掘った土を別の部分に使用しましたが、土の性質に合わせて使用する部分を変える提案を行ったり、現場で発生した木の根を盛った土の先に置き、土砂の流出を防止する提案を行うなど創意工夫にも優れ、さらにコスト縮減にも繋がりました。</p>
ほ場整備部門		<p>経営体育成基盤整備事業 新田作地区 田村市常葉町新田作 地内 区画整理工 A=9.0ha 富士工業株式会社 代表取締役 猪狩 恭典</p> <p>阿武隈山系の中山間地でのほ場整備工事です。 現場は沢沿いの狭く急な傾斜地でしたが、田は基準の半分以下の値で”たいら”に仕上げられています。 田面均平度 規格値（±35mm）現場 +13mm～-16mm</p> <p>また、傾斜に合わせた田の形や道路や水路の”とおり”など出来映えもよく、丁寧な工事がなされています。</p> <p>さらに、環境への配慮のため排水路の末端に沈砂池を設置して土砂の流出を防止したこと、地区内道路に鋼板を敷き一般交通の安全を確保したことなど社会貢献や安全対策にも積極的に取り組みました。</p>

平成22年度 福島県優良建設工事表彰

部門	工事写真	事業名・地区名／工事場所/工事概要/会社名
治山部門		<p>山地災害総合減災対策治山事業 戸倉地区 東白川郡鮫川村大字西山 地内 山腹工 A=0.24ha 深谷建設株式会社 代表取締役 深谷 佳孝</p> <p>平成20年の災害で崩落した現場の復旧工事です。 再崩落の危険がありましたが、現場の作業に細心の注意を払い安全に工事を完了させました。</p> <p>斜面に設置された柵（筋工）では横木の固定に五寸釘を使用することにより精度が向上し優秀な出来映えとなっています。他の部分についても細部まで丁寧な仕上がりとされています。</p> <p>植生土のうの固定に竹串の利用を提案するなど環境面にも配慮がありました。</p>
治山部門		<p>復旧治山（火山）事業 帝釈山地区 南会津郡檜枝岐村字帝釈山 地内 流路工 L=70.0m 大富士工業株式会社 代表取締役 酒井 秀明</p> <p>平成17年度に発生した災害の復旧工事の最終年度で流路工70mなどの工事を行いました。</p> <p>かごや鋼製の柵に石を詰める工法でしたが、かごのゆがみを防止するための工夫や詰める石を選別して使用するなど丁寧な工事がされています。</p> <p>鋼製の柵とかごのつなぎ目もすきまなく仕上げられ、全体の出来映えも優秀な工事です。</p> <p>現場は崩壊した土砂が堆積し、非常に軟弱でしたが、降雨対策として常にシートを掛け、短期間で工事を完成させました。</p>
林道部門		<p>ふるさと林道緊急整備事業 楸木田一本木Ⅱ地区 東白川郡塙町大字東河内字権現 地内 道路工 L=220m W=4.0/5.0m 藤田建設工業株式会社 代表取締役社長 藤田 光夫</p> <p>山間の急な地形での林道の工事です。 道路の基礎となる土の部分を固めるために、複数の機械を使用し、1回（1層）の固める厚さも通常の半分程度で行うなど徹底した品質確保を行っています。</p> <p>また、土砂の流出を防止するために大型土のうを設置したり、コンクリート表面の気泡を少なくする工夫、埋め戻しする土の改良など出来型や、出来映えの向上のための努力がありました。</p> <p>作業中に無線を活用して合図をするなど安全対策も優秀でした。</p>
特殊構造部門		<p>ふるさと林道緊急整備事業 大霊山地区 伊達市霊山町石田字荷立場 地内 橋梁下部工 N=2基 佐藤工業株式会社 取締役社長 加藤 眞司</p> <p>山間の急で狭い箇所での橋の土台（橋台）2基の工事です。 この工事現場の先で別の工事もありましたが、どちらにも支障がないように調整を行いました。また、寒い時期にコンクリート工事を行わないように工事の進み具合について十分に管理を行い品質を確保しました。</p> <p>傾斜もありカーブ区間に設置されたため、複雑な形の橋台でしたが優秀な出来映えとなっています。</p> <p>また、掘った斜面を保護するシートを透明にし斜面の状態を確認しながら工事を行うなど、安全確保と施工の円滑化に努めました。</p>